



幼稚園・保育所 幼保連携型認定 こども園	各学年の食に関する指導の目標			中学校
	1、2年	3、4年	5、6年	
<ul style="list-style-type: none"> ○食事を楽しんで食べる。 ○食物に関心を持つ。 ○感謝の気持ちをもって食事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○食事の喜び、楽しさを味わう。 ○食物（特に野菜）の大切さが分かる。 ○食事に感謝し、食物を大切にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○食べ物の働きについて理解し、栄養のバランスに気を付けることができる。 ○心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方について考えることができる。 ○食物の生産等に関わる人々を感謝し、食物を大切にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○食べ物の働きについて理解し、栄養のバランスに気を付けて食べることができる。 ○心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方について考え、自ら管理することができる。 ○食物の生産等に関わる人々を感謝し、食物を大切にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生の時期の栄養について理解する。 ○自分の生活の課題を見つけ、自らの健康を増進しようとする意欲を持つ。 ○簡単な日常食の調理ができる。

食育推進組織

委員長：校長（教頭）

委員：主幹教諭、教務主任、保健主事、養護教諭、学年主任、給食（食育）主任、体育主任、学級担任

※必要に応じて、保護者代表、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の参加

食に関する指導

- 教科等における食に関する指導：関連する教科等において食に関する指導の視点を位置付けて指導
社会、理科、生活、家庭、体育、道徳、総合的な学習の時間、特別活動 等
- 給食の時間における食に関する指導：
 - 食に関する指導：献立を通して学習、教科等で学習したことを確認
 - 給食指導：準備から片付けまでの一連の指導の中で習得
- 個別的な相談指導：肥満・やせ・傾向、食物アレルギー、疾患、偏食、スポーツ 等

地場産物の活用

地場産物等の校内放送や指導カードを使用した給食時の指導の充実、教科等の学習や体験活動と連携を図る 等

家庭・地域との連携

「宮内家族会議」「元気っカード」の取組

食育の評価

成果指標：給食の喫食率 98%